

2024年4月16日

おかげさまで開館35周年！
東武博物館開館35周年記念イベントを開催
～記念ヘッドマークをC11形123号機に掲出します～

東武博物館（所在地：東京都墨田区）は、2024年5月20日で開館35周年を迎えます。これを記念して5月18日（土）・19日（日）の両日、さまざまなイベントを予定しており、5月19日（日）は入館が無料です。

また5月1日（水）から26日（日）まで、SL大樹C11形123号機に記念のヘッドマークを掲出し、除煙板に装飾を施します。

詳細は以下の通りです。

【東武博物館開館35周年記念イベントについて】

開催日：2024年5月18日（土）・19日（日）の2日間

内 容：

5月18日（土）

（1）キャラクター大集合！

ソラカラちゃんや鉄道のキャラクターたちがお祝いに駆けつけてくれます。

（2）各鉄道会社や交通系博物館のオリジナルグッズ即売会

≪参加館≫

・京王れーるランド・地下鉄博物館・ロマンスカーミュージアム（敬称略・五十音順）

（3）入館券・招待券でご入館の先着1,000名様に開館35周年記念品を贈呈

5月19日（日）

（1）入館無料

（2）お楽しみイベント①空くじなしのガラポン抽選会（1回100円）②ポン菓子無料配布 他



ガラポン抽選会（イメージ）



ポン菓子無料配布（イメージ）

【開館35周年記念ヘッドマーク掲出】

期 間：2024年5月1日（水）から5月26日（日）

掲出車両：SL大樹 C11形123号機（都合により掲出中止の場合がございます。ご了承ください。）



C11形123号機



東武博物館開館35周年記念ヘッドマーク（左）と除煙板の装飾（右）（ともにイメージ）

【東武博物館について】

東武鉄道創立90周年を記念して1989（平成元）年5月20日に東京都墨田区東向島にオープンし、今年で35周年を迎える交通系の博物館です。身近な交通機関である鉄道やバスについて楽しみながら理解いただけるよう館内を8つのコーナーに分けて構成し、東武鉄道の歴史や文化・役割を紹介しています。郷愁を誘うダイナミックな蒸気機関車をはじめ、館内外に12両の実物車両を展示、歴史を伝える記念物などの資料を展示する一方で、交通のしくみを実際に見て、触れて、体感できるシミュレータや実物機器も設置しています。博物館の真上を走行する車両を至近距離から観察できる立地を活かしたコーナーも設けられた、リアルタイム感覚で楽しめる体験型のミュージアムです。

またSL大樹で使用されている蒸気機関車3機、車掌車2両、客車8両は、東武博物館の所有または借り受けて、通勤車両8000系の初期型8111編成6両とともに、車両の動態保存活動も行っています。

【東武博物館ご利用案内】

開館時間：10：00～16：30（入館は16：00まで）

休館日：月曜日（月曜が祝日・振替休日の場合は翌日）・年末年始（12月29日～1月3日）

入館料：大人〈交通系電子マネー〉200円 〈現金〉210円／子ども（4歳～中学生）100円
団体（20名以上）大人100円・子ども50円（団体の場合、3歳から有料）

※障がい者割引あり

所在地：〒131-0032 東京都墨田区東向島4-28-16 電話：03-3614-8811

アクセス：東武スカイツリーライン東向島駅下車（駅のとなり）

※最新情報は東武博物館HPをご覧ください。

<https://www.tobu.co.jp/museum>

以上

=====

ニュースリリースに関するお問い合わせは下記へお願いします。

東武博物館 TEL：03-3614-8811